




# インフォメーション・コーナー

## 会 告

○2020年度(第69回)農業農村工学会大会講演会の参加申込み  WEB 事前参加登録 6月1日～7月31日	70
○2020年度(第69回)農業農村工学会大会講演会(鹿児島大会)の企業展示および広告掲載申込み 申込締切 6月26日	71
○研究部会長の交代	72
○今年もやります! 農業農村工学会ミニ動画コンテスト“こりゃ映像! 2020” 応募締切 7月31日	72
○「水土の知(農業農村工学会誌)」読者の氏名公表とご協力のお礼	72
○「農業農村工学会論文集」査読者の氏名公表とご協力のお礼	73
○土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」(平成30年5月版)の正誤内容(令和元年12月分)の誤り	74
○新刊「改訂6版 農業農村工学標準用語事典」の発刊	74
○学生会員入会時の特典～新刊の用語事典がセットで従来価格据置きです!～	74
○若手研究者育成のための「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い	75
○学会誌掲載報文等によるCPD 通信教育の参加者募集!!	75
○2021年の学会誌表紙写真の募集 春季締切 6月30日	75
○「水土の知(農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	76
○農業農村工学会論文集におけるコレスポンディングオーサーの記載	78
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2018年7月から2020年6月までの編集事務局	78
○第77回京都支部研究発表会の開催(第1報)  発表申込締切 6月30日	79
○令和2年度九州沖縄支部大会の開催(第1報)  開催地:長崎市	80
農業農村工学会論文集 内容紹介	81
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」誌 最新号掲載論文紹介	83
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム(一般参加可) 一覧	85
受入れ図書	86
学会記事	86

## 会員のみなさまへ

例年、4月は転勤・卒業などで多くの会員の方々が異動されます。

引き続き学会誌を正しくお届けするために、転職・転居などで個人情報に変更のあった方は、suido@jsidre.or.jp までご連絡ください。また、学会ホームページの会員専用サイトからも会員情報の確認および更新手続きを行うことができます。

なお、学会誌を職場等で連絡委員を通じてお受取りの方は、連絡委員にその旨、お申し出ください。

### 第88巻第5号予定

展望:高木強治

小特集:Society 5.0に向かう農業農村工学

報文:Society 5.0に向けた農業農村工学に求められる視点:北村浩二

報文:情報通信技術を備えた圃場給水機による減水深推定の課題:坂田 賢ほか

報文:AIによる画像認識を活用した野生動物の判別:成岡道男

報文:水管理へのICT導入による水利秩序の継承と再構築の検討事例:友正達美ほか

報文:Society 5.0と農業農村振興:松岡宗太郎ほか

報文:Society 5.0へ変化を続ける農業農村:関 勝寿

### 技術リポート

北海道支部:札内川地区における管水路工事情報化施工技術の適用事例:清水拓郎ほか

東北支部:地域住民による維持管理活動に配慮した水路補修工事の事例:浦野友貴

関東支部:梶無地区における軽量上屋工法の事例紹介:廣山康平

京都支部:ソフト対策と併行した防災対策事業の事例:吉岡弘太郎ほか

中国四国支部:ため池堤体土を石灰改良し再利用した手法:富田弘行

九州沖縄支部:架設後30年以上経過した鋼橋の塗装塗替工事:佐古陽子ほか

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加くださるよう、お待ちしております。

Ⓟのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
2020年 8月25～28日	大会運営委員会	2020年度(第69回)農業農村工学会 大会講演会 Ⓟ	—	鹿児島市	87巻12号 88巻1,4号
2020年11月 11, 12日	京都支部	第77回支部研究発表会 Ⓟ	—	福井市	88巻4号
2020年11月 12, 13日	九州沖縄支部	令和2年度支部大会 Ⓟ	—	長崎市	88巻4号

## 2020年度(第69回)農業農村工学会大会講演会の参加申込み

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



2020年度(第69回)農業農村工学会大会講演会は、2020年8月25日(火)～28日(金)の4日間、鹿児島大学郡元キャンパス(農学部共通棟)およびジェイドガーデンパレス鹿児島で開催されます。本報では開催要領、参加申込みなどについてお知らせします。

参加登録(事前登録)は、2020年6月1日から7月31日までです。

会場設備や発表プログラムの詳細等については本誌第7号(Vol.88 / No.7)でお知らせします。

なお、講演発表を申し込まれた方も、別途、参加の申込みが必要です。

## 1. 開催要領

## (1) 開会式典および学会賞表彰式:

8月25日(火) 13:30～

会場 ジェイドガーデンパレス鹿児島  
鹿児島県鹿児島市上荒田町19-1  
TEL: 099-257-1211

## (2) 特別講演: 8月25日(火) 15:30～

講演者 徳永哲也(ペシャワール会 理事)  
会場 ジェイドガーデンパレス鹿児島

## (3) 交流会: 8月25日(火) 18:00～

会場 ジェイドガーデンパレス鹿児島

## (4) 講演会: 8月25日(火)、26日(水)、27日(木)

会場 鹿児島大学郡元キャンパス(農学部共通棟)

## (5) 現地研修会: 8月28日(金)

大規模畑地灌漑事業などを視察予定

開会式、特別講演および交流会の開始時間についてはプログラムの都合により多少前後する場合があります。会場の詳細・プログラムとともに本誌第7号に掲載します。

現地研修会は事前予約制(7月31日まで)で、定員40名になり次第締め切ります。また、申込みが少ないときは中止する場合があります。

## 2. 申込方法

2020年度(第69回)農業農村工学会大会専用ホームページ(2020年6月1日～7月31日開設)から参加登録(事前登録)

をしてください。8月1日以降は当日登録のみとなります。このホームページは農業農村工学会のホームページからもリンクされます。その他の方法で申込みを希望する場合は、「8. (1) 参加申込みに関する問合せ」までご連絡ください。

## 3. 参加費用

## (1) 大会および交流会参加費用と内容

区分	事前登録(7/31まで)	当日登録
大会 一般	8,000円	10,000円
大会 学生	3,000円	5,000円
交流会一般	7,000円	8,000円
交流会学生	3,000円	4,000円

キャンセルの場合、8月1日以降は50%、8月24日以降は100%のキャンセル料が発生します。

## (2) 現地研修会参加費: 3,000円(昼食代別)

## 4. 講演要旨集について

CD-ROM版講演要旨集は参加者全員にお渡しいたします。事前の送付を希望する場合は、ホームページでの参加登録時にお申し込みください。ただし、CD-ROM版講演要旨集の事前送付は事前登録期間(7月31日まで)にお申し込みいただいた場合のみの対応となります。なお、今年度はUSB版講演要旨集を作製しません。

これらの講演要旨集とは別に、プログラム、学会賞受賞者紹介、全講演・ポスター発表の200字要旨などを収録した大会概要集を、大会当日受付にて参加者全員にお渡しします。

## 5. 昼食

大学食堂は混雑が予想されますので、弁当の予約を受け付けます。弁当は1食1,000円(消費税込)です。ホームページでの参加登録(事前登録)の際にお申し込みください。なお、大会当日の弁当販売は行いません。

## 6. 宿泊施設・航空券などの斡旋

宿泊施設、航空券、鉄道各社の手配については斡旋しません。あらかじめご了承ください。

## 7. 会場までの交通案内

鹿児島大学郡元キャンパスへは、鹿児島中央駅より徒歩20分または市電「神田(交通局前)」、「唐湊」下車徒歩5分です。

ジェイドガーデンパレス鹿児島へは、鹿児島中央駅より徒歩13分または市電「中洲通」下車徒歩2分です。なお、鹿児島大学郡元キャンパスからジェイドガーデンパレス鹿児島までは徒歩5分です。詳細については、次のウェブサイトをご参照ください。

鹿児島大学郡元キャンパス

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

鹿児島大学農学部

<https://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/access.html>

ジェイドガーデンパレス鹿児島

<http://www.jadegarden.jp/access/>

## 8. 問合せ先

(1) 参加申込みに関する問合せ

(株)JTB ビジネスネットワーク福岡営業所内

JTB九州MICEセンター

「2020年度農業農村工学会大会講演会」係

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-1-35  
新KBCビル5階

TEL: 092-751-2102 FAX: 092-751-4098

E-mail: travel\_jsidre2020@jtb.com

営業時間: 平日9:30~17:30 (土日祝日は休業)

(2) 大会全般に関する問合せ

2020年度農業農村工学会大会講演会事務局

肥山浩樹

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24

鹿児島大学農学部

TEL: 099-285-8694

E-mail: hiyama@agri.kagoshima-u.ac.jp

## 9. 大会実行委員会

委員長 粉井和朗

鹿児島大学農水産獣医学域農学系

# 2020年度(第69回)農業農村工学会大会講演会(鹿児島大会)の企業展示および広告掲載申込み

2020年8月25日(火)、26日(水)、27日(木)の3日間、鹿児島大学(鹿児島市)で開催されます2020年度農業農村工学会大会講演会において、農業農村工学会企業展示を開催するとともに大会講演会概要集への広告掲載を行います。

このうち企業展示については、(一社)農業土木事業協会(以下、「事業協会」という)創立50周年記念展示会との共催となり、事業協会にて募集を行います。一般枠も設けることとなっておりますので、展示を希望される企業は事業協会へお尋ねください。

広告掲載についても事業協会が窓口となります。広告掲載を希望される企業は下記要領によりお申し込みください。

### 1. 企業展示

鹿児島大学 農獣医共通棟101号室

※具体的な場所や条件は事業協会へお問い合わせください。

### 2. 広告掲載

大会講演会概要集に掲載(A4判モノクロ印刷)

※概要集は大会参加者全員に配布

### 3. 出展料

①広告1ページ	60,000円
②広告1/2ページ	30,000円
③企業展示(屋内)	80,000円
④広告1ページ+企業展示(屋内)	120,000円
⑤広告1/2ページ+企業展示	100,000円

### 4. 申込方法(広告掲載)

(1) 申込用紙の送付

所定の申込用紙(学会ホームページの農業農村工学会大会講演会のページ(<http://www.jsidre.or.jp/zenkokutaikai/>))に掲載を事業協会に送付(郵送、E-mail等)

その後の手順は以下のとおりです。

- a (事業協会) 申込み受付後、貴社へ連絡
- b (貴社) 広告原稿の送付(事業協会あて)
- c (大会事務局) 請求書の発送
- d (大会事務局) 大会講演会概要集の発送
- e (貴社) 振込み(大会事務局へ振込み)
- f (大会事務局) 領収書発送

(2) 申込期限 2020年6月26日(金)まで

(3) 振込先

・ 金融機関: ゆうちょ銀行

・ 店名: 七八八

・ 店番: 788

・ 預金種目: 普通預金

・ 口座番号: 30979621

・ 口座名義: 令和2年度農業農村工学会大会講演会実行委員会

(4) 申込み・問合せ先

(一社)農業土木事業協会事務局

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館

E-mail: j-mail@jagree.or.jp

## 研究部会長の交代

2020年1月1日付で下記研究部会長が交代しました。

記

記

農村生態工学研究部会  
 新部会長 角道 弘文 (香川大学創造工学部教授)  
 前部会長 神宮字 寛

水文・水環境研究部会  
 新部会長 近森 秀高 (岡山大学環境理工学部教授)  
 前部会長 黒田 久雄  
 農村道路研究部会  
 新部会長 川端 伸一郎 (北海道科学大学工学部教授)  
 前部会長 鈴木 哲也

2020年4月1日付で下記研究部会長が交代しました。

## 今年もやります！ 農業農村工学会ミニ動画コンテスト “こりゃ映像！ 2020”

農業農村工学会広報委員会では、昨年に引き続き、下記のとおり、農業農村工学を紹介する動画を広く募集します。

1. 応募締切 2020年7月31日(金) 17:00
2. 動画の制限時間 60秒以内
3. 2020年度のテーマ 農業用水
4. 応募資格 なし(どなたでも応募できます)
5. 応募方法 動画をYouTubeへ指定されたタブを付けてアップロードする。
6. 審査方法 広報委員会動画ワーキングチームで審議の上、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を決定する。
7. 賞金 最優秀賞(1作品) 2万円  
優秀賞(2作品) 各1万円
8. アップロード方法
  - ① 動画を作成する。
  - ② YouTubeにアップロードする(9. 参考資料を参照)。
  - ③ タグに3つのワード(jsidre2020, こりゃ映像, (農業用水))を入れる。
  - ④ カテゴリに「科学と技術」を選ぶ。
  - ⑤ 下記の情報を広報委員会動画 WT (new-suido@jsidre.or.jp)宛にメールで送る。

入賞賞金をお渡しするのに必要な情報(氏名, 年齢, 性別, 所属, 連絡先, YouTube 動画の URL)

9. 参考資料
    - ・YouTubeにPCから動画をアップロードする方法  
<http://douga-tec.com/?p=4974>
    - ・スマホからYouTubeに動画をアップロードするには—Android入門  
<http://android.f-tools.net/Q-and-A/YouTube-Upload.html>
- <参考>こりゃ映像2019 結果(テーマ:農業用水)  
 最優秀賞:津軽を潤す農業用水  
 弘前大学 森田七海  
<https://www.youtube.com/watch?v=F1o4-UXFjG4&feature=share>  
 優秀賞:3匹のこぶたで学ぶ農業用水  
 農研機構農村工学研究部門 新村麻実  
<https://youtu.be/ByN1E1X1szQ>  
 優秀賞:奄美群島 沖永良部島  
 studio GHIKLI  
<https://www.youtube.com/watch?v=YkaRDwJdESI>

## 「水土の知(農業農村工学会誌)」 読者の氏名公表とご協力のお礼

農業農村工学会誌企画・編集委員会では、読者への感謝の意を表すべく、2019年4月から2020年3月までの一年間に閲読にご協力いただきました方々のお名前(五十音順・敬称略)を記し、ご貢献の証しとさせていただきます。

なお、氏名の公表を辞退されている方もおられることを申し添えます。

今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(2020年3月1日現在)

愛 宕	徳 行	上 田	裕 二	亀 山	幸 司	熊 谷	徹	佐 藤	周 之
安 中	武 幸	内 村	求	河 田	健 太 郎	郷 古	雅 春	佐 藤	健
池 浦	弘	大 西	健 夫	北 村	浩 二	小 林	勤	澤 田	豊
稲 垣	修	大 和	田 辰 明	木 全	卓	齋 藤	邦 人	凌	祥 之
稲 葉	一 成	岡 澤	宏	木 村	匡 臣	坂 田	寧 代	篠 原	亮 二
井 上	一 哉	鎌 田	知 也	工 藤	庸 介	櫻 井	伸 治	島 崎	昌 彦

珠 玖 隆 行	瀧 本 裕 士	中 園 健 文	深 田 耕 太 郎	籾 田 德 章
申 文 浩	竹 内 潤 一 郎	中 田 和 義	堀 田 昇 克	山 崎 由 理
杉 浦 未 希 子	多 田 明 夫	中 村 和 正	牧 野 貴 嗣	山 路 永 司
杉 山 行 男	千 葉 克 己	成 岡 和 弘	松 島 文 也	山 下 良 平
鈴 木 和 哉	塚 本 康 貴	西 田 和 弘	宗 岡 寿 美	吉 川 夏 樹
鈴 木 麻 里 子	都 築 慶 剛	野 尻 大 輔	村 松 陸 宏	吉 田 武 郎
清 野 修	富 森 淳	乃 田 啓 吾	森 淳 之	吉 田 裕 史
宗 村 広 昭	豊 田 裕 道	瀨 田 康 治		

「農業農村工学論文集」査読者の氏名公表とご協力のお礼

農業農村工学会論文集企画・編集委員会では、査読者への感謝の意を表すべく、2019年4月から2020年3月までの一年間に査読にご協力いただきました方々のお名前（五十音順・敬称略）を記し、ご貢献の証しとさせていただきます。

なお、氏名の公表を辞退されている方もおられることを申し添えます。

今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(2020年3月1日現在)

浅 野 眞 希	柏 木 淳 一	周 藤 将 司	成 岡 市	牧 山 正 男
有 吉 充	桂 圭 佑	莊 林 幹 太 郎	西 田 和 弘	嶺 田 拓 也
伊ヶ崎 健 大	加 藤 亮	申 文 浩	西 原 是 良	宮 津 進 仁
池 浦 弘	金 沢 智 彦	鈴 木 純	西 村 眞 一	宮 本 輝 仁
石 井 敦	金 子 俊 幸	鈴 木 正 貴	西 村 拓 子	村 岡 敬 子
石 井 将 幸	神 山 惇	高 井 和 彦	西 脇 淳 子	毛 利 栄 征
石 神 暁 郎	川 邊 翔 平	高 松 利 恵 子	長 谷 川 雄 基	望 月 秀 俊
泉 明 良	木 全 卓	竹 下 伸 一	服 部 俊 宏	森 淳 久
泉 智 揮 二	木 村 匡 臣	竹 村 武 士	馬 場 俊 介	森 丈 久
伊 藤 祐 二	九 鬼 康 彰	武 山 絵 美	濱 武 英	森 充 広
稲 垣 仁 根 資	栗 田 英 治	多 炭 雅 博	濱 田 康 治	森 也 寸 志
井 上 敬 二	黒 田 久 雄	多 田 明 夫	東 孝 寛	守 田 秀 則
猪 迫 耕 良	小 出 水 規 行	駄 田 井 久	兵 頭 正 浩	守 森 谷 慈 宙
岩 田 幸 良	郡 山 益 実	田 中 良 和 哉	平 瑞 樹 一	守 山 拓 弥
上 野 和 広	小 島 悠 揮 子	田 中 丸 治 之	廣 瀬 裕 一	山 路 永 司
遠 藤 明 敏	越 山 直 秀 一	谷 口 智 孝 浩	深 田 耕 太 郎	山 下 良 平
大 澤 和 啓 志	小 林 秀 文 義	田 村 孝 啓 之	福 与 川 智 紀	山 本 清 仁
大 澤 賢 治	近 藤 文 朱 未	樽 屋 森 秀 涼	藤 澤 和 正	山 本 忠 貢
岡 島 英 彦	齋 藤 一 賢 代	椿 德 本 正 健	藤 原 正 洋 一	吉 田 修 一
緒 野 倫 太 郎	坂 田 寧 周 之 郎	中 島 健 文 義	藤 原 洋 鉄 朗	吉 田 智 弘
奥 野 博 之 郎	坂 田 泰 一 郎	中 園 和 正 勇	藤 原 圭 介 哉	吉 田 永 生 生
落 合 健 一 郎	佐 藤 泰 一 郎	中 田 和 正 勇	星 川 圭 滋 敏 也	吉 田 渡 部 恵 司
鬼 丸 竜 治 子	佐 藤 泰 一 郎	中 村 東 平	前 田 前 田	
折 立 文 亘	澤 田 武 男	浪 平		
柿 野 弘	島 本 由 麻			

## 土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」(平成30年5月版)の 正誤内容(令和元年12月分)の誤り

農業農村工学会誌第88巻第2号(2020年2月)の巻末に掲載した土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」, p.608 表-13.29 の正の欄に、編集上の修正漏れがございましたので、下記の訂正についてお知らせ申し上げます。関係者には、大変ご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。なお、正誤内容は、改めて本誌巻末に再掲載いたしました。

〈訂正箇所〉

- ・正 地域区分B 対象地域 下から7行目  
香川県のうち高松市(旧木田郡のうち村井町,  
→ 香川県のうち高松市(旧木田郡のうち牟礼町,
- ・正 地域区分C 対象地域 下から5行目  
宇土群 → 宇土郡

## 新刊「改訂6版 農業農村工学標準用語事典」の発刊

農業農村工学会では、創立90周年の記念事業として、「改訂6版 農業農村工学標準用語事典」を2019年8月27日に出版いたしました。

	会員価格	非会員価格
定 価	3,700円+税	4,500円+税

### 図書の購入方法

#### I. 個人・法人の場合(賛助会員を除く)

以下のいずれかによる代金先払いをお願いします。または代金引換をご利用ください。

- ① 郵便振替：郵便局の払込取扱票の通信欄に図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先をご記入ください。  
振込口座番号：00160-8-47993 加入者名：公益社団法人 農業農村工学会

- ② 現金書留：図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書を同封してください。
- ③ 代金引換：図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えてE-mailかFAXでお送りください。別途、代引手数料と送料の実費がかかりますので担当者からご連絡いたします。

#### II. 官公庁の公費購入および賛助会員の場合

図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書をE-mailかFAXでお送りください。

#### III. 送料

1冊200円, 2冊400円, 3冊以上600円

問合せ先 (公社)農業農村工学会 図書係

E-mail: suido@jsidre.or.jp

## 学生会員入会時の特典

### ～新刊の用語事典がセットで従来価格据置きです！～

農業農村工学会では、将来を担う若い方達が早くから学会活動に参加することを通じて、よりよく社会に貢献できる環境づくりを目指しています。その一環として、学生の方々が少しでも入会しやすいように、学生会員入会特典を設けております。

これから学生会員として入会をお考えの学生の皆様、是非ご利用ください。

#### ①ハンドブック3点セット

(ハンドブック+用語事典+初年度会費)

学部生 17,000円(15,750円)

大学院生 19,500円(16,750円)

#### ②必携3点セット(必携+用語事典+初年度会費)

学部生 7,000円(5,750円)

大学院生 10,000円(7,250円)

#### ③2点セット(用語事典+初年度会費)

学部生 5,000円(3,750円)

大学院生 8,000円(5,250円)

( )内の金額は、10月1日以降(半期)入会の場合。

なお、用語事典を購入した方のうち希望者には、用語事典の内容をスマートフォンなどで閲覧可能なサービスを後日提供する予定です。

ハンドブック：改訂七版農業農村工学ハンドブック

必携：資格試験のための農業農村工学必携(第二版)

用語事典：改訂6版 農業農村工学標準用語事典

問合せ先 (公社)農業農村工学会 図書係

E-mail: suido@jsidre.or.jp

## 若手研究者育成のための「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

学術基金は、農業農村工学の学問・技術に関する研究及び関係諸活動に経済的援助をし、わが国の農業農村工学の新たな発展に資することを目的として、継続してきました。しかし、大学改革が進められている現在、若手研究者等の研究環境は非常に厳しいものがあります。研究費の削減は、人材の育成にも大きな影響を与えています。そのため、学会では、2019年度より学術基金制度の拡充による新技術の開発と人材確保・育成を進めています。拡充内容としては、①ダム保全管理工学に関する調査・研究の推進、②大規模コンクリート構造物の設計・施工に関する調査・研究の推進、③①、②以外の分野及び学際的分野に関する調査・研究の推進、④顕著な功績のあった農業工学遺産の保護等の推進を加えて、より具体的に学術基金の枠組みを創設しました。

2019年度の実績では、8グループに対して、総額205万円の支援を行っていますが、拡充部分は法人からの寄附が大きな原

動力となっています。

なお、学会は公益法人であり、寄附をした法人に対しては、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられており、税制上の優遇措置が受けられます。

つきましては、研究者の厳しい現状をご理解の上、次代の人材を育成・確保するため、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、衷心よりお願い申し上げます。

個人会員一口 5,000円（何口でも可）

法人会員一口 50,000円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社)農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

## 学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者の方が CPD 単位を在宅のまま取得できる方法として、平成 17 年 10 号から農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD 通信教育」を実施しています。学会員であり、かつ CPD 個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大 24 cpd を取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非 CPD 通信教育へご参加ください。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信してください。

### 1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者

### 2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月 10 問を出題

### 3. 解答方法

Web 画面に正解と思う番号を入力し、送信（事前に Web 利用登録が必要）

### 4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

（例：学会誌 4 号掲載の問題は 5 月末日が解答期限）

### 5. 取得できる CPD 単位

10 問正解で 2 cpd を、7~9 問正解で 1.5 cpd を自動登録（正解数 6 問以下の場合は CPD 単位の付与はされません）

### 6. 自動登録の時期

取得した CPD 単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

## 2021 年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では、2021 年発行の学会誌も引き続いて学会員の皆さまからの写真などを基本に表紙を飾ることとします。以下の趣旨を参考に魅力ある写真などをふるってご応募ください。

### 趣 旨

現代に入り農業の近代化のために、農業農村工学の粋を集めた多くの農業（水利）施設が造成され、農業や農村の基盤を支えています。そして、近年、それらも更新や機能保全を重ね施設の様態も変化してきています。さらに、日本の農業農村工学

の成果は技術移転により、海外の多くの国々で現地適用され、それらの国々の食料供給と農業生産の基盤を支えています。農業農村の現場で活躍される技術者、現場での調査研究に邁進されている研究者・学生の皆さま、国内外の農村地域における農業施設・構造物、特に新たに完成した施設や施工中の現場事例および国外においては日本の関連技術が適用された事例などの匠（造形美、用の美、融合の美）とそれを含む景観を広く学会員にご紹介ください。

## 記

## 1. テーマ

「農業（水利）施設・構造物とそれらに支えられた農地・地域の景観など：現代の最新技術と苦勞が垣間見える造形美・用の美など」

## 2. 対象巻号 学会誌第89巻（2021年第1～12号）

## 3. 写真などの種類

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。プリントは「写真用紙—フォトペーパー／滑面タイプ」を使用してください。四つ切りワイド、A4サイズも含まれます。なお、六つ切りは203×254mm、四つ切りは254×305mm、同ワイドは254×356mm、A4は210×297mmです。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。一点につき5MB以下とし、これを超えるものはCDまたはDVDにて送ってください。形式はJPEGのみに限定します。

## 4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

## 5. 締切 春季 2020年6月30日

夏季 2020年9月30日

※応募時、過去1年以内に撮影したのものに限ります。

## 6. 審査 審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

## 7. 結果発表

学会誌第89巻第1号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は2021年度大会講演会会場内でパネル展示します。

## 8. 被写体の説明文または「Cover History（表紙写真由来）」の執筆および写真使用料について

採用作品の応募者には、被写体の説明文（500字程度）をご執筆いただきます。また、ご希望の応募者には、撮影の動機、

被写体にひかれた点、被写体の説明などを、学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」にご執筆いただくことができます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。また、採用作品には規定の写真使用料（1点につき1万円）をお支払いします。なお、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送りします。

## 9. 使用権・著作権

採用作品の使用権および著作権は（公社）農業農村工学会に属します。

## 10. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

また、被写体の肖像権や権利関係については許可等、十分ご注意ください。

## 11. 応募方法および応募先

学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp/format/>）より、投稿票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名詞（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送りください。

なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（公社）農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

## 自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp/>

journal/）に掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」、「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

## 学会誌第88巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判1,500字以内)
第88巻第5号 Society 5.0 に向かう農業農村工学（仮）	終了
6号 農業水利施設の補修工法選定上の課題（仮）	終了
7号 九州・沖縄の多様性と農業農村整備（仮）	公募なし
8号 「多様な主体が住み続けられる農村」の振興（仮）	終了
9号 農業用ため池の持続的な保全管理手法（仮）	4月10日
10号 高品質化・高収益化のための水管理・灌漑技術（仮）	4月20日
11号 農業水利施設における外来生物対策（仮）	5月10日
12号 農業農村工学分野の海外社会実装事例—中村 哲医師を偲ぶ—（仮）	6月10日



今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せください。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4  
 (公社)農業農村工学会  
 農業農村工学会誌企画・編集委員会あて  
 TEL: 03-3436-3418 FAX: 03-3435-8494  
 E-mail: henshu@jsidre.or.jp

### 第88巻第9号テーマ「農業用ため池の持続的な保全管理手法」(仮)

農業用ため池について農業農村工学分野では、長年、老朽化対策、耐震性、維持管理、ハザードマップから、多面的機能や生態系まで、広範囲に研究と技術の対象にしてきました。

しかし、近年の大型で強い台風による豪雨や大規模地震により被災が多発するとともに、人命にも影響を及ぼす事象が発生しています。このような状況から、先に政府では、全国のため池の緊急点検を実施し、2019年4月にはため池の適切な管理および保全を目的とした「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」(ため池新法)を公布し、2019年7月に施行しました。

ため池は、現在全国に16万7千カ所分布し、その管理も多

くは水利組合や集落など地域に委ねられており、農家の減少や高齢化を背景とする保全管理の体制の脆弱化、さらには廃止を含む検討が必要なため池の存在など、多くの困難な課題を抱えているのが現状です。

このため、これまでの知見や技術を結集し、ため池の持続的な保全管理を技術面から担うことが求められています。

そこで本小特集では、これまでのため池に関する知見や技術をレビュー、整理し、これらを社会に広く発信するとともに、今後必要とされる研究や技術開発素材に関する事項について、幅広い方々からの報文を募集します。

### 第88巻第10号テーマ「高品質化・高収益化のための水管理・灌漑技術」(仮)

農家の減少が続く中、平成30年末にTPP11も発効するなど、競争力の高い農業が求められる状況はますます強まっています。収益性を高め競争力を強化するためには、高く評価されるための作物の高品質化、およびブランドを確立するなどマーケットの信頼を獲得するための品質の安定化が必要です。食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画でも、消費者ニーズに応じて収益性を向上し、また、輸出量を増加するためにも高品質化の必要性が謳われています。

作物の品質を決める要素は食味に限らず、外観、栄養価や機能性成分含有量などもあります。これらの要素に、作物の生育過程での水分状態が大きく影響します。また、水田では水温も稲の生育に大きく影響します。そのため、作物の高品質化のた

めには、適切に土壌や作物の水分、および水温を制御する水管理・灌漑技術などが重要となります。

作物の水分状態や水田の水温と作物品質の関係は生理的なメカニズムにより決まるものですが、目標とする水分状態や水温を実現するには、灌漑や排水による土壌水分や水温の適切な制御が必要です。そのような制御には、従来の補給灌漑を前提とした技術では適切な対応が難しく、需要主導水管理、少量多頻度灌漑や土壌水分の精緻な把握など、高度な技術の発展も必要です。昨今のICTの進歩はそれらに大きく寄与するでしょう。

本特集では、作物品質の高度化・安定化による高収益化に寄与する水管理・灌漑技術などについて、実践や研究・開発の事例、また、技術の開発・向上に有用な知見などを広く募集します。

### 第88巻第11号テーマ「農業水利施設における外来生物対策」(仮)

外来生物は、生態系に深刻な影響を及ぼす驚異として、国際的には平成4年の国連環境開発会議において生物の多様性に関する条約が採択されました。わが国では生物多様性の保全と持続可能な利用に関する国の基本的な計画である「生物多様性国家戦略」が平成7年に策定され、4度の見直しにより現行は「生物多様性国家戦略2012-2020」が平成24年に策定されています。また、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が平成16年に制定されるなど、さまざまな対策が進められています。農林水産省においても平成20年3月に「外来生物対策指針」を策定、平成27年3月には環境省および国土交通省と共同で「外来種被害防止行動計画」を策定するなど種々の対応を進めています。

外来生物の影響は単に生態系へ影響を与えるのみならず、さ

まざまな被害が生じる恐れがあります。農業においては食害・病害・交雑・競争による作物への影響のほか、水路やため池等の水利施設への繁茂・定着による通水阻害や水質悪化、耕地への外来種の侵入による営農活動の阻害などが生じています。

外来生物は、国際化が進み交通の利便性も増して移動・侵入する機会が多くなっています。作物の品種改良や園芸作物としての利用、家畜やペットといった利用目的で積極的に導入されたものが野生化して結果的に悪影響を及ぼすケース等もあり、その侵入を完全に防ぐことは困難です。また、すでに多大な被害を及ぼし、根絶が不可能なほど定着してしまっている種や事例も見られます。

外来生物の対策には多大な費用・労力を要することもあるうえ、一度侵入されると抜本的な対策は難しく、施設の特性や財

政状況といった地域の実情がある中、可能な範囲で個々に対応している実情があります。

そこで、本小特集では農業水利施設に影響する外来生物に関

する新しい知見や対策技術、効率的・継続的に実施可能な対策事例など、有用な情報を共有すべく、幅広い方からの報文を募集します。

## 第88巻第12号テーマ「農業農村工学分野の海外社会実装事例—中村 哲医師を偲ぶ—」

2019年12月中村 哲医師が、無念にもアフガニスタンで心ない凶弾に倒れました。中村医師は「百の診療所よりも1本の用水路を」との意思で、わが国の古来の灌漑技術の粋をアフガニスタン西部に惜しみなく投下しました。中村医師だけではなく、多くの学会員や関係者が海外で、特に発展途上国で農業農村工学技術の社会実装をはかり、わが国だけではなく、現地での多くの業績が強く記憶に残っていると考えられます。また現在も世界中でその努力が継続されていると思います。

中村医師だけではなく、たとえば杉山龍丸氏は、自身の財産をなげうって、インドの緑化に精進し、インドでは「グリーンファーザー」として名をはせ、インドでは最も有名な日本人の

一人です。このようにわが国の農業農村工学技術はわが国だけではなく、世界にも実装され、食料生産などそれらの国の持続的な発展に大きく貢献している事例も少なくありません。

今回の小特集では、中村医師を偲びながら、農業農村工学技術に関して、世界で我々の先人がなした業績を共有しようと考えました。また、現在、世界各地で行われているさまざまな活動についても情報を共有することは、今後の学会員の活動、特に海外への技術移転、普及・定着や今後の国際協力についても有益であると考えました。学会員のさまざまな観点や地域からの情報提供など関係する多くの投稿を期待します。

### 農業農村工学会論文集におけるコレスポンディングオーサーの記載

農業農村工学会論文集は、現在コレスポンディングオーサーを記載するシステムになっております。投稿される皆様に改めてご案内申し上げます。農業農村工学会論文集投稿の手引き(平成27年3月16日改正：第236回理事会報告)の「6.2 投稿手順」に「⑩追加投稿情報(会員番号、コレスポンディングオーサー等)の入力」の記載があります。

また、投稿システムの著者マニュアル(Ver.15.0～、2018年7月改訂)に「3-6 追加登録情報を入力する」がありますのでご

確認ください。さらに、論文集の完全版下原稿(邦文)の作成例Ver.5などにも記載例が示されていますので、併せてご確認ください(学会ホームページ [http://www.jsidre.or.jp/how\\_to\\_post/](http://www.jsidre.or.jp/how_to_post/) からダウンロードできます)。

なお、掲載済みの論文に遡って、コレスポンディングオーサーの証明を必要とされる方は、農業農村工学会論文集企画・編集委員会(E-mail:ronbun@jsidre.or.jp)まで、ご連絡ください。

### 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2018年7月から2020年6月までの編集事務局

国際水田・水環境工学会(International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES)では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。また、2017年のインパクトファクター(IF)は過去最高の1.379となり、国際ジャーナル誌としての位置づけがますます向上しています。

水田農業における土地、水、施設および環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており、掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理、水収支、灌漑施設、栽培管理)
- ② 排水(排水管理、排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良、土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発、水文)

- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節、地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生、陸生動植物の生態系)
- ⑦ 水利施設と減災・防災(施設管理、地すべり、気候変動、災害防止など)
- ⑧ 地域計画(農村計画、土地利用計画など)
- ⑨ バイオ環境システム(水田農業と水環境、土壌環境、気象環境)
- ⑩ 水田の多目的利用(田畑転換、施設園芸)
- ⑪ 農業政策(農村振興、条件不利地の支援策など)

また、世界11カ国からEditor(19名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

一方、2018年7月から、新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

編集体制

- ・ Editor-in-Chief : Dr. Takao MASUMOTO (Japan)  
Faculty of Bioresource Science, Akita Prefectural University, Akita, Japan
- ・ Associate Editors-in-Chief  
Dr. Seong-Joon Kim  
Konkuk University, Korea  
Dr. Chen-Wuing Liu  
National Taiwan University, Taiwan, ROC
- ・ Editors 11 カ国から 19 名
- ・ Editorial Advisors 29 名
- ・ Chief Managing Editor  
Dr. Kimihito NAKAMURA  
Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
- ・ Managing Editors  
Dr. Eunmi Hong  
Kangwon National University, Korea  
Dr. Inhong SONG  
Department of Landscape Architecture and Rural Systems Engineering, Seoul National University, Korea  
Dr. Chihhao FAN  
Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China  
Dr. Kuo-Wei LIAO  
Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China  
Dr. Hiroshi IKEURA  
Rural Development Division, Japan International Research Center for Agricultural Science (JIRCAS),

Japan  
Dr. Andrew WHITAKER  
Graduate School of Science and Technology, Niigata University, Japan

編集事務局 (2018 年 7 月から 2020 年 6 月まで)

- ・ Dr. Kimihito NAKAMURA  
Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan  
Oiwake-cho, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, JAPAN  
TEL : + 81-75-753-6156  
FAX : + 81-75-753-6476  
E-mail : nakamura@kais.kyoto-u.ac.jp

投稿先 : オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) になります。

投稿資格 : 筆者が農業農村工学会員で PWE 誌の購読者であること。

投稿要領等 : <http://pawe.edmgr.com/> に詳細を記載しています。

発行スケジュール : 年 4 回 (オンラインジャーナル)

購読料 : 正会員・名誉会員 9,000 円+税

学生会員 (院生含む) 4,500 円+税

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず農業農村工学会にご入会の上、お申し込みください。

なお、オンラインジャーナルへの完全移行に伴い、2016 年度からの購読はパスワードによる Web 上での閲覧になっています。冊子体の配布はありません。

申込先 : 農業農村工学会事務局 ([suido@jsidre.or.jp](mailto:suido@jsidre.or.jp)) まで会員番号を明記の上、お申し込みください。

第 77 回京都支部研究発表会の開催 (第 1 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 研究発表会

日時 2020 年 11 月 11 日 (水) 10 : 00 ~ 17 : 00  
場所 受付・開会式, 表彰式・基調講演  
福井県民ホール  
〒910-0850 福井県福井市手寄 1-4-1 アオッサ 8 階  
TEL : 0776-87-0003 FAX : 0776-87-0303  
研究発表会  
福井市地域交流プラザ  
〒910-0850 福井県福井市手寄 1-4-1  
アオッサ 5, 6 階  
TEL : 0776-20-1535 FAX : 0776-20-1536

2. 情報交換会

日時 2020 年 11 月 11 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00

3. 現地研修会

日時 2020 年 11 月 12 日 (木) 9 : 00 ~ 16 : 00

4. 研究発表申込み

研究発表者は投稿原稿に先立ち、6 月末日までに、以下の情報を簡条書きにしたメールを下記の発表申込先 (神戸大学・多田) にご送付ください (件名を「発表申し込み」としてください)。  
①表題 (仮題でも可), ②発表者名, 所属, 年齢, ③連名者名, 所属, 年齢, ④希望発表部門 (水理, 水文・気象, 土壌物理, 土質力学, 応用力学, 材料・施工, 施設管理・更新, 灌漑排水, 農地造成・整備・保全, 農村計画, 環境保全, 生態環境, 地震・その他), ⑤発表者の連絡先電話番号, ⑥発表者のメールアドレス。

発表者要件は「発表者は学会員に限らない。ただし、連名者に少なくとも 1 名は学会員が含まれること」となっております。なお、投稿原稿に関する詳細な要領は本誌第 6 号を参照してください。

## 5. 参加費

会 員：3,000 円

非会員：4,500 円

## 6. 発表申込先

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院農学研究科 多田明夫

TEL&FAX：078-803-5897

E-mail：atada@kobe-u.ac.jp

## 7. 申込期限

(1) 発表申込み 2020 年 6 月末日

(2) 原稿締切り 2020 年 7 月末日

(3) 参加申込み 2020 年 8 月末日

## 8. 問合せ先

福井県農林水産部農村振興課

計画調査グループ 木下慎也

E-mail：s-kinoshita-g3@pref.fukui.lg.jp

TEL：0776-20-0452 FAX：0776-20-0656

## 令和 2 年度九州沖縄支部大会の開催（第 1 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



## 1. 期日および内容

(1) 講演会：令和 2 年 11 月 12 日（木）

オーラルセッション・ポスターセッション

(2) シンポジウム：令和 2 年 11 月 12 日（木）

テーマ未定

(3) 講習会：令和 2 年 11 月 13 日（金）

テーマ未定

(4) 現地見学会：令和 2 年 11 月 13 日（金）

未定

## 2. 会場

長崎新聞文化ホール アストピア

長崎県長崎市茂里町 3-1

## 3. プログラムおよび申込み方法

第 2 報にて詳細をお知らせします。

全国各地から多数のご参加をお待ちしております。

## 4. 問合せ先

長崎県農林部農村整備課 箱崎

TEL：(代表) 095-824-1111 (内線 2968)

(直通) 095-895-2968

FAX：095-895-2594

E-mail：r\_hakozaki@pref.nagasaki.lg.jp

会員の皆様へ

会員登録情報の更新のお願い



学会ホームページの「会員専用サイト」で会員登録情報の更新ができます。

会員専用サイトの利用にはログインが必要ですので、パスワードをお持ちでない方は、

会員専用サイトで「WEB利用登録の申込み」をしてください。